

夜間の地震に 備えましょう

今年度の総合防災訓練は、夜間の大地震を想定。夜間の災害は昼間とどう違うのか、どんな備えをしておけばいいのか、この機会に家族や地域の人と一緒に確認しましょう。

☎危機管理課 ☎36-7143



8/25

島田市総合防災訓練

訓練概要

とき／8月25日(日)午後5時～8時
ところ／相賀小学校など

訓練想定／南海トラフ地震に関連する情報(臨時)の発表に引き続く大規模地震が発生し、市内に震度6弱から震度7の揺れがあり、大きな被害が生じた想定
※相賀地区以外は、例年通り午前中の実施となります。自分の地区の計画を確認しましょう。

訓練内容

1 地区対策本部訓練

▽地区内被害状況や、住民の安否を確認します。またプロパンガス発電や、地震発生後の応急危険判定を行います。

協力／自主防災会、島田ガスなど

2 倒壊家屋・高所からの救出訓練

▽倒壊家屋に見立てた構造物から、けが人を救出したり、小学校の非常階段からはしご車を使い住民を救出したりします。

協力／陸上自衛隊、島田消防署、島田警察署、自主防災会、事業所など

3 消火訓練

▽消火器や可搬ポンプの使用方法を確認し、消火訓練を行います。

協力／地元消防団、自主防災会など

4 地震体験訓練

▽起震車を使い、暗いところで発生する地震を体験します。

5 暗所・障害物通過訓練

▽暗いところや目隠しした状態で、土のうやコーンなどの障害物を、介助人の手助けを受けながら通過します。

6 患者搬送訓練

▽自衛隊の車両などにより、模擬患者を救護所へ搬送します。

7 取水・給水訓練

▽市と自衛隊の給水車を設置し、住民が持ち寄ったタンクに給水します。

8 救護所開設訓練

▽救護所を第一中学校に開設します。

協力／島田市医師会、島田歯科医師会、島田薬剤師会

9 物資集積所開設訓練

▽川根文化センターチャリム21で、運送業者と連携した訓練を行います。

協力／市内運送業者

夜間の防災訓練は、市として今月初めての試みです。夜間に起きる災害では、暗闇により行動能力が低下し、恐怖感も一層増します。まずは、家屋の倒壊や家具の転倒、火災から生き残ることが大切です。その上で、住民や市がお互い助け合わなければなりません。

夜間の災害に備え、枕元に懐中電灯と厚底の靴を置いておくと、すぐに行動できますよ。もし照明がなかったら、目が暗闇に慣れるまで待つてから、落ち着いて行動しましょう。家の中に物が散乱している場合は、厚底の靴があると安全です。玄関などに持ち出しリュックを置いておくと、より安心ですね。



島田市危機管理部
眞部和徳 部長